

※本学図書館で所蔵している本は書名に赤線を引いています。資料ID番号で検索すると利用状況がわかります。

【短期大学部 総合文化学科】

1

1. 書名 『**語彙力こそが教養である**』
2. 著者名 齋藤孝
3. 出版社名 角川書店
4. 請求記号 814/Sa25 (資料ID**13619182**)
5. 推薦コメント

貴女は今日、何回「まじ」、「やばい」、「うざい」を言ったでしょうか。まさか就活ではこのような言葉は使わないと思いますが、常に簡単な言葉で済ませていると、「語彙力がない人」、「言葉を知らない人」と思われてしまいます。相手に感動を伝える言葉、つまり「語彙力がある言葉」はどのようにすればよいかということが書かれています。折角の夏休み、専門を離れて、広い教養を高めることをしましょう。

2

1. 書名 『**千年、働いてきました**』
2. 著者名 野村進
3. 出版社名 角川書店
4. 請求記号 509.21/N95 (資料ID**12846959**)
5. 推薦コメント

本書は約十年前に発行された本ですが、我が国は創業百年以上の会社が十万以上あるとの報告があり、老舗企業大国といわれています。その当時、最先端であった携帯電話を例に、携帯電話の中には創業百年以上の会社の知恵が沢山含まれていると説明しています。その他、長寿企業の敗者復活、日本型バイオテクノロジー、「和風」の長い旅、町工場のミクロの闘いや地域の「顔」となった老舗企業などの紹介があり、会社の寿命は何で決まるか。潰れない会社の持続力の源を探る本です。皆さんの会社選びの参考にしてください。

3

1. 書名 『**ニッポンの縁起食—なぜ「赤飯」を炊くのか**』
2. 著者名 柳原一成・柳原紀子
3. 出版社名 日本放送出版協会

※本学図書館で所蔵している本は書名に赤線を引いています。資料ID番号で検索すると利用状況がわかります。

4. 請求記号 383.8/Y53 (資料ID02976889)
5. 推薦コメント

七五三や結婚式のような「通過儀礼」や、お正月や雛祭りなどの「年中行事」と、食との関わりというのは、とても密接です。私たちはなぜ、お正月におせち料理をいただくのでしょうか？ その理由についてなど、「食の縁起」について、本書では説明をされています。これまで知っているようで実は知らなかった、日本の食文化について、多くのことを学ぶことができます。

-
4. 1. 書名 『tripadvisor 行ってよかった外国人に人気の日本の観光スポット』
 2. 出版社名 昭文社
 3. 請求記号 291.09/Tr5 (資料ID13618801)
 4. 推薦コメント

外国人に評判の良い日本の観光地を紹介しているガイドブックです。外国人が日本らしいと思うスポットやその理由が紹介されています。

-
5. 1. 書名 『戦地の図書館：海を越えた一億四千万冊』
 2. 著者名 モリー・グプティル・マミング
 3. 出版社名 東京創元社
 4. 請求記号 019.0253/Ma45 (資料ID13618844)
 5. 推薦コメント

第二次世界大戦、ナチスドイツは一億冊にのぼる「書物大虐殺（焚書）」を行った。思想統制のためという。片やアメリカでは、図書館員・軍隊・出版業界があらゆる戦場へ図書を届ける活動を始めます。なぜ、どのようにして、という疑問を抱きながら読んでみませんか。多くの得るもの（考えること）があると思います。

-
6. 1. 書名 『読書力』
 2. 著者名 齋藤孝
 3. 出版社名 岩波書店

※本学図書館で所蔵している本は書名に赤線を引いています。資料ID番号で検索すると利用状況がわかります。

4. 請求記号 SN (資料 ID12358067)
5. 推薦コメント

「本を読むことの意味は何か」について考えるために必要な情報が沢山語られている。学生がこれから読書をするにあたって、まず最初に読んでほしい著書である。

7

1. 書名 『かあちゃん』
2. 著者名 重松清
3. 出版社名 講談社
4. 請求記号 913.6/Sh28 (資料 ID03246027)
5. 推薦コメント

「ゆるす・ゆるさない」という人間関係をテーマに書かれており、伏線として「いじめ・いめられ」という問題があり、人間の行動の背景にある心の問題が丁寧に描かれた小説である。自分自身の心のあり様も考えながら読み進むと、人との関係の持ち方など考えるよい機会となるだろう。